

下田に誇りをもち、未来を切り拓く志をもった人

下田市教育大綱

令和3年4月～令和8年3月（5年間）



令和3年3月策定

下 田 市

教育大綱とは

地方公共団体の長が、地域の実情に応じて、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものです。

この大綱の対象期間は「第5次下田市総合計画」に合わせ、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

この教育大綱の性質は

この教育大綱は、下田市民一人一人が人づくりやまちづくりを自分事として捉える指針となるように整理しました。子どもから大人まで、一人一人が「下田に誇りをもち、未来を切り拓く志をもった人」になることを目指し、また、そうした人材育成に自らも参画するという、「なりたい」「育てたい」目標をもって取り組んでいくためのイメージの源泉となるものです。

なぜこのような教育大綱にしたのか

「下田市教育大綱」（平成27年12月策定 期間：H28～R2）

今まで、下田市は、「開国の町から 夢をつなぐ 『未来の人づくり』『自ら学ぶ人づくり』」を基本理念に、社会情勢の変化に対応できる人材育成を目指してきました。

「学校教育」「就学前教育」「生涯学習」とそれぞれの分野ごとに目標を揚げ、様々な施策を進めてきました。特に、地域に根ざした自然体験や社会体験をととして

①下田を学ぶ活動の展開 ②地域に開かれた学校づくり ③安心安全な環境づくり
に取り組み、成果として、下田のすばらしさを知り地域と共にある教育活動を展開することができました。一方で、学んだことをどのような場面でどのように活かしたらよいのかという課題もみえてきました。

「下田市教育大綱」（令和3年3月策定 期間：R3～R7）

本市の、令和2年4月の人口は、21,080人であり、5年前の平成27年の人口22,916人と比較しますと、1,836人減少したことになります。小学校の入学児童数に焦点を当ててみますと、令和2年度は130人ですが、令和7年度は74人と、令和2年度から約半数になると予想されています。

本市を取り巻く社会は、急速な人口減少、少子高齢化、高度情報化など、急激に変化し続けています。このように、将来が見通せない予測困難な時代を迎えようとしている今、これから生きる人々にとって大切なことは、一人一人が前向きに生き、主体的に社会づくりに参画していくことではないかと考えます。そのために下田は、下田に関わる人々にとっての居場所となり、どこにいても一人一人が安心して力を発揮し活躍するための心の拠り所となることが重要であると考えました。

そこで、第5次下田市総合計画の基本構想を受け、私たち市民一人一人が「下田に誇りをもち、未来を切り拓く志をもった人」になることを目指すと同時に、下田の自然、歴史、文化など豊かな資源を活かしながら人材育成に参画していくことを教育の理念としました。

教育の理念：何を目指しますか？

下田に誇りをもち、未来を切り拓く志をもった人

下田に誇りをもつとは？

- ・ 下田を愛し、下田を大切にすること
- ・ 下田をよりよい場所にするために自分自身が関わること

未来を切り拓く志をもった人とは？

- ・ 新たな視点や発想に基づく価値を創造し、下田や世界にアクションを起こせる人
- ・ 生涯を通じて学び、成長し続けながら社会に貢献できる人
- ・ 夢を抱き、失敗を恐れずに挑戦することができる人
- ・ 多様な他者と関わりながら問題解決に向かうことができる人
- ・ 困難を乗り越えるたくましさを持ち、柔軟な思考で対応することができる人

○下田に誇りをもつために大切なことは何ですか？

- ◇ 下田の魅力を知り下田を好きになること
- ◇ 下田でしかできない体験や学びを思う存分経験すること

○未来を切り拓く志をもった人になるために大切なことは何ですか？

- ◇ 自分の資質・能力を発揮し伸ばすこと
- ◇ 自分の夢や未来について思考する力を身に付けること
- ◇ 未知の状況にも対応できる判断力、表現力、行動力を身に付けること
- ◇ 多様な価値観を認め、人と人とのつながりを大切にすること

○未来を切り拓く志をもった人を育てるために大切なことは何ですか？

- ◇ 下田が未来を切り拓く志をもった人を育むための居場所となること

居場所とは何ですか？

- ・ 自己存在感を大いに感じられるポジティブな体験を仲間と共に得られる場所
- ・ 失敗してもコミュニティから受け入れてもらえるという安心感を得られる場所
- ・ 自分の選択や頑張りによって、新しく楽しい世界が開けた感覚を得られる場所
- ・ 仲間、家族、先生、地域の方から必要とされているという声や思いに触れる場所
- ・ 夢に向かって挑戦できる機会やチャンスを得られる場所

教育の理念の実現に向けた取組

◇下田を感じる、味わう、好きになる取組

自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます

- ・下田の豊かな自然（海、山、川、ジオ）を体験する活動を通して学びます
- ・下田の豊かな資源（文化、歴史、伝統）の探求を通して学びます
- ・開国のまちの特色を生かした取組を通して、豊かな国際感覚を身に付けます。

◇未来について思考する取組

自分の将来や地域の未来について思考する素地を養います

- ・夢を思い描き、自分の生き方や下田の未来について考え、アクションを起こします
- ・下田内外の職場や働く人の生き方から学びます

◇居場所づくりに向けた取組

安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます

- ・自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します
- ・命を大切にし、安全かつ安心して生活できる環境づくりを目指します
- ・防災教育を通して、命を守るために自ら考え、人のためにも行動できる人を目指します

◇資質・能力を育成する取組

自分や地域の未来を切り拓くことができる資質・能力を伸ばします

- ・実際の社会や生活で生きて働く知識や技能を身に付けます
- ・未知の状況にも対応できる、思考力、判断力、表現力などを身に付けます
- ・学んだことを人生や社会に生かそうとする力を身に付けます

◇健やかな心身を育成する取組

生涯を通じて充実した人生を送るために、健やかな心身と豊かな感性を育みます

- ・健やかな心身を支える健康な体づくりを目指します
- ・道徳教育や読書活動の充実を図り豊かな心の育成を目指します

◆教育政策推進のための基盤整備に向けた取組

以上、5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます

- ・人材育成に向けた学びの機会や質を保障する教育予算の拡充
- ・少子化・人口減少社会と新しい時代に対応した魅力的な学校づくり
- ・ICT、ネット環境に関する基盤整備
- ・子どもの安心安全の確保と、多様なニーズに対応するセーフティーネットの構築
- ・生涯にわたって学び続けることができる施設・環境の整備